

会 議 録

会議の名称		令和4年度第2回守谷市地域包括支援センター運営協議会		
開催日時		令和4年7月29日（金） 開会：午後1時30分　閉会：午後2時40分		
開催場所		守谷市役所　全員協議会室		
事務局（担当課）		健幸福祉部　健幸長寿課		
出席者	委　員	城賀本会長、星野会長代理、高橋委員、宇野委員、岩佐委員、吉沼委員、堀込委員、坂本委員（オンライン参加）、宮原委員、本台委員 計10名		
	その他	守谷市北部地域包括支援センター　吉澤管理者、根本保健師 計2名 守谷市南部地域包括支援センター　工藤主任介護支援専門員、南良社会福祉士 計2名		
	事務局	小林健幸福祉部次長兼健幸長寿課長、市村健幸長寿課課長補佐、宮下係長、安藤係長、山崎係長 計5名		
公開・非公開の状況		☒ 公開 ☐ 非公開 ☐ 一部公開	傍聴者数	0人
公開不可の場合はその理由				
会　議　次　第		1　開会 2　あいさつ 3　報告事項 （2）令和3年度第8期守谷市高齢者福祉計画・介護保険事業計画評価について （2）令和3年度守谷市成年後見制度利用促進基本計画評価について （3）令和4年度守谷市権利擁護事業の取組みについて 4　その他 5　閉会		

確　定　年　月　日	会　議　録　署　名
令和　4年　8月　12日	城賀本　満登

審 議 経 過

1 開会

2 あいさつ

3 報告事項

- (1) 令和3年度第8期守谷市高齢者福祉計画・介護保険事業計画評価について
令和3年度第8期守谷市高齢者福祉計画・介護保険事業計画評価について事務局から説明した。

【主な意見等】

委 員： 評価で A、B とありますが、これは何回実施したかなど目標と実績で評価をしているのですか。

事務局： 事業の実績については担当が一番理解しているのではということで自己評価になっています。保健福祉審議会でも担当の主観によって評価が変わってくるのではといったご指摘をいただいております、今後の課題とさせていただきます。

- (2) 令和3年度守谷市成年後見制度利用促進基本計画評価について

令和3年度守谷市成年後見制度利用促進基本計画評価について事務局から説明した。

【主な意見等】

委 員： エンディングノートについてですが、これは配るだけで状況の把握はしていないのでしょうか。私も持っていますがなかなか書く気がおきません。書き方の指導や支援があればよいと思います。

事務局： エンディングノートは自由記述のあるノートとなっており、預金通帳の場所や銀行口座、有価証券の数等かなりプライベートな情報を記載するものになります。高齢者向けにお話をしていますが、実は成年後見の相談で一番多いのが、相続を受けるご家族が、どこに口座があるかわからないといった相談であるため、相談に来庁されるご家族に対して親御さんに書いていただくようお願いしています。

令和2年度、3年度とエンディングノートの書き方の出前講座の企画はありましたが、コロナ禍のため実施できませんでした。ご意見をいただいたこともあり、検討して参ります。

しかし、成年後見制度に対してデメリットを感じる方もいるため、相談内容によっては成年後見制度だけではなく、日常生活自立支援事業等の他施策の利用の提案も行います。

会 長： 高齢者の成年後見制度の相談は地域包括支援センターを介したものが多
いですか。

事務局： 難しい制度でありますので包括で受けて、わからないところについては
連絡をいただいて一緒に対応したり、申立ての支援を行ったりしています
が、最初の相談は包括で受ける事が多いです。

(3) 令和4年度守谷市権利擁護事業の取組みについて

令和4年度守谷市権利擁護事業の取組みについて事務局から概要の説明と
両包括から事例発表を行った。

【主な意見等】

事務局： 委員の皆さんにお尋ねします。権利擁護事業に携わっている方の中で、
本来は成年後見制度が必要だと思われる方に実際に関わったことがある
方はいらっしゃいますか。

委 員： 中にはそういう方もいらっしゃいます。この場合は包括に相談をさせて
いただいて介護保険の申請や今後について一緒に動いています。

委 員： 特養に従事する者ですが、入居されている方の支払いについて兄弟の方
に後見人についてもらったケースや、ご家族の判断能力が難しく後見人を
つけたほうが良いのではと思われる方がいます。

会 長： 8050 もしくは 9060 問題。高齢の親を持つ中高年の引きこもりの子供に
ついてどういう対応するのかというのが非常に重要になるのではという
話をよく聞くのですが。

事務局： 確かに多くみられるケースではあります。高齢の親世代にきちんとこの
制度の周知を行うことは、判断能力の低下が見られる引きこもりの子供の
成年後見制度の申立てを行う場合において、重要になってきます。

成年後見制度を利用している方の7割以上は一番重い後見相当になっ
ておりますが、軽い程度である補助・保佐というのもあり、今後こういっ
た申立てが必要となってくると思いますので、社会福祉課や保健センター
と連携を取りながら、中核機関としての役割を果たしていきたいと思いま
す。

委 員： 民生委員も国から依頼を受けて引きこもりの実情把握を行ったことがあ
りました。この人は引きこもりかな、と思っても家庭の中ではそういう認
識でないという現状もあると思います。そういう人を発見して支援に繋が
られればと思います。

事務局： 今年も両包括支援センターには熱中症予防訪問を行っていただいている
ところですが、実際に訪問している中で昨年との違いや気づきなど伺えま
すか。

南 部： 暑い時期で外に出てくるのが大変という意見をたくさんいただきました。
インターホン越しの面談も何件かあり、その場合はお声だけでフォロー
が必要か判断しています。暑い時期のため、軒がないお宅やアパートな

どは、訪問するのもされるのも本当に大変だと感じています。

北 部： 男性職員は女性職員より少し警戒されている印象があるため、なるべくにこやかに対応するように努めています。また、例年訪問しているお宅は受け入れが良いのですが、今年初めて訪問するお宅には、市の広報写真に掲載された包括の写真を有効な手段として活用しています。

守谷市は８０歳以上でも元気な方が多いという印象を受けます。足腰もしっかりされていて、お話もしっかりされている方が目立ちます。

事務局： ありがとうございます。守谷市では、熱中症予防訪問として包括に回っていただいています。ただ、これだけ暑いと訪問する時期など何か工夫が必要だと思います。熱中症予防訪問の際には、広報誌で包括支援センターの記事は掲載しているのですが、年に何度か包括支援センターの紹介記事を掲載してもよいのかなと思いました。

4 その他

次回の会議日程について

令和４年１０月３１日（月）午後１時３０分から開催予定。

5 閉会